

第11章 新興成長市場と通貨危機

デビッド・デローザ

デローザリサーチ&トレーディング社 社長

新興成長市場における通貨リスクの管理は、米ドル、ドイツマルク、日本円、イギリスポンドのリスク管理に比べ非常に困難である。投資家が認識しなければならない点は、先進国の市場と新興成長国の市場における通貨間の重要な相違点と、見せかけの安全性と親しみやすさ、オプションボラティリティの突然の急上昇、資本移動管理、通貨体制のすばやい転換など、大きな火傷となりえる潜在的な悪夢が存在することである。投資家はこうした悪夢を避けるために、リスク管理手法の欠点を理解し、過去の経験を学ぶ必要がある。

この発表は外国為替リスク管理と外国為替取引における論点になるいくつかの分野を含み、具体的には人々が想像もしなかった出来事の発生とそのときの市場の劇的な反応を網羅している。これらの出来事はポートフォリオ理論やオプション価格決定理論がすべて間違っていると指摘するものではない。しかしこれらの出来事は、VARやシャープレシオなど伝統的なリスク管理の方法が、新興成長市場の通貨、特に危機にさらされやすい通貨に関しては、確実に効果を失う方法となることを指摘する。